

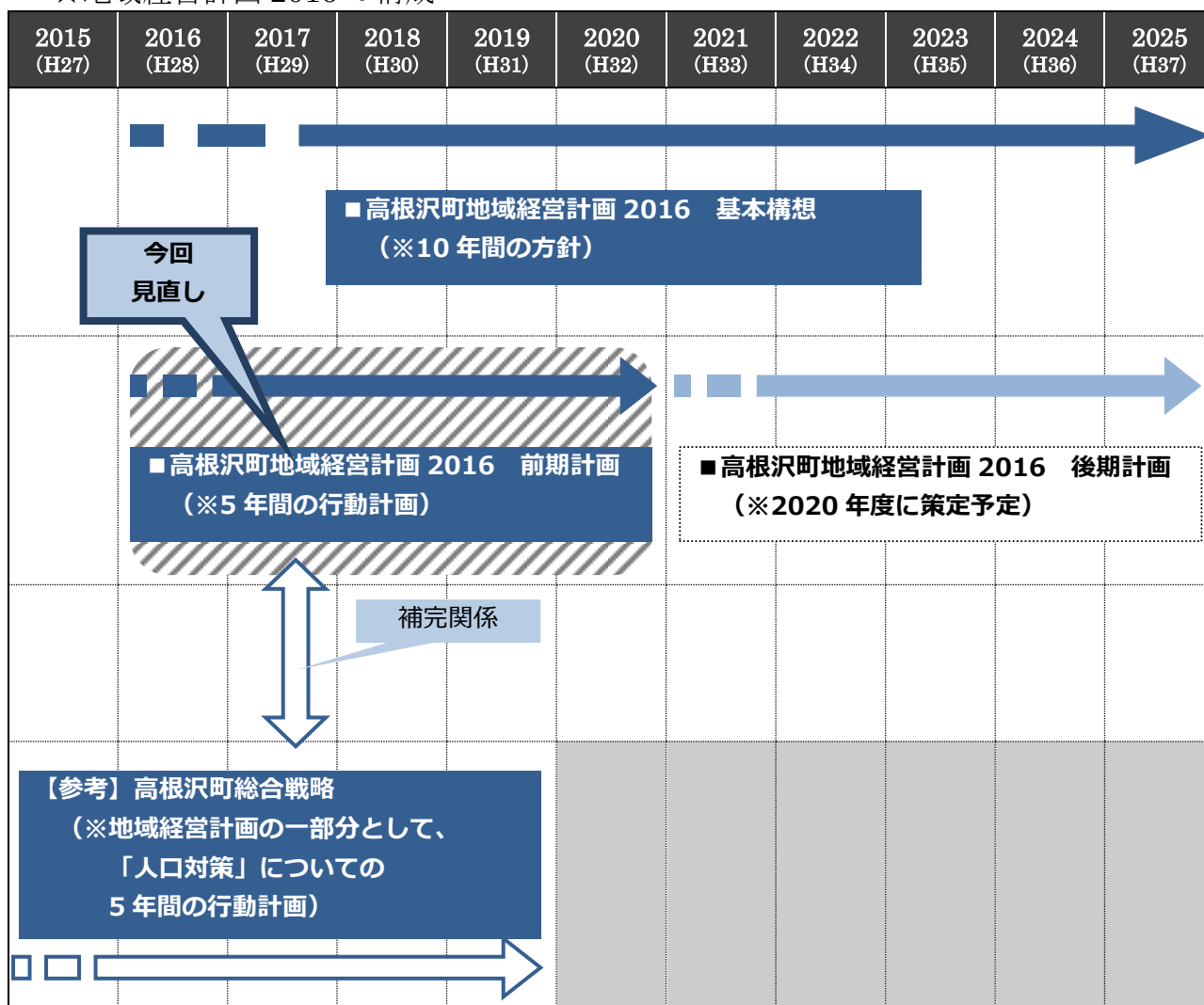
## 『地域経営計画 2016 前期計画』の見直しについて

高根沢町 企画課

## 1.地域経営計画 2016（前期計画：2016-2020）について

本町は2016年2月に、2016年度～2025年度までの10カ年を想定した、高根沢町地域経営計画2016（まちづくりの最も基本となる、最上位の計画）を策定し、2016年4月から計画をスタートさせました。

## ★地域経営計画2016の構成



## 2.見直しの背景と方向性

### 2\_1. 計画の骨組みに変更はありません。

#### <変わらないもの>

- 基本理念 . . . . . 『希望の持てるまちを 後世に引き継いでいく』
- キャッチフレーズ . . . . . 『くらし 高まる たかねざわ』
- 取組んでいくこと . . . . . 『4分野 チャレンジ40』
- 取組みあたっての考え方 . . . 「数値目標等を設定して定量的に進捗管理」することに固執するあまり、「計画のための計画」になってしまうようなことのないよう、「町民の皆さんに、サービスを実感していただけているか？」を絶えず意識し、検証しながら取組みを進める。

### 2\_2. ではなぜ、見直しを行うのか？

#### <変えるもの>

- チャレンジ40のうち、特に今後4年間（2017年度～2020年度）で重点的に取り組む項目を、「重点取組」として目出しし、「将来像（2020年度末時点の姿）」を設定します。
- チャレンジ40の再編（統合、廃止）という意味ではありません。  
チャレンジ40はこれまでどおり、各行政分野、あらゆる生活の場面にわたる40の課題全てにおいて、「町民の皆さんにサービスを実感いただくこと＝実感度を着実に上げていくこと」を目標として、これまで同様、それぞれ不断に取組みを進めていきます。
- しかしながら計画を執行していく上で、資源（財源や人員など）には限りがあり、チャレンジ40全てを同じレベルで進めていくことは不可能であり、そこは町民の皆さんのニーズや社会経済環境等の変化をみながら、施策展開の優先順位＝メリハリを付けて取組みを進めていきます。  
今回の見直しの趣旨は、そのメリハリの部分をお示しすることです。

## 3.見直し（最終案）策定にあたっての前提条件

- ★ 「地域経営計画2016」の進捗状況について  
(2016年度実績) . . . . . 6, 7ページ参照

## 4.チャレンジ 40 及び重点取組 体系図

	チャレンジ 40					重点取組	所管課	
	生活課題	所管課						
子ども・教育・生涯学習分野	1	子育ての支援施設	こども		1	子育て世代包括支援センターの設置と運営	こども	健福
	2	子育ての相談	健福	こども				
	3	子育ての経済的負担	こども					
	4	教育（知力）	こども		2	こども医療費の現物給付対象年齢の拡大	こども	
	5	教育（徳力）	こども					
	6	教育（体力）	こども					
	7	子どもの交通安全	地安		3	ICT 教育の推進	こども	
	8	生涯学習	生涯					
	9	文化	生涯					
	10	図書館	生涯					
	11	スポーツ	生涯					
	12	施設の老朽化や設備環境	こども	生涯				
住民生活・福祉・環境分野	13	サービス意識や窓口対応	住民	税	4	健康づくりプロジェクト	住民	健福
	14	高齢者の生活支援	健福					
	15	高齢者の支援施設	健福		5	地域をきれいにする活動支援	住民	環境
	16	介護予防	健福					
	17	障害者の生活支援	健福					
	18	障害者の支援施設	健福	こども				
	19	災害時の要援護者	地安	健福				
	20	地域内福祉	健福					
	21	健康づくり	住民	健福				
	22	環境	環境					
都市整備・上下水道・産業分野	23	住環境	都整	産業	6	住環境の整備	都整	上下水
	24	道路網	都整					
	25	道路や橋の老朽化	都整		7	産業振興	産業	都整
	26	水道	上下水					
	27	下水道（雨水処理・排水処理）	上下水					
	28	農業の持続的発展	産業					
	29	安全で安心な町産農産物	産業					
	30	商工業の活性化	産業					
	31	観光	産業	都整				
	32	消費生活	産業					
町政運営・地域自治・地域安全分野	33	防災（避難所・情報発信など）	地安		8	役場本庁舎の整備方針検討	総務	
	34	防災（全町の意識付け）	地安					
	35	防犯・交通安全	地安		9	東小学校跡地の利活用	企画	こども
	36	公共交通	地安					
	37	行財政改革	総務	企画	10	防災機能の強化	地安	
	38	地域自治	総務	企画				
	39	情報発信	企画					
	40	情報受信	総務					

## 5.重点取組

分野	NO.	取組	取組概要	2020 年度将来像
子ども・教育・生涯学習分野	1	子育て世代包括支援センターの設置と運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て世代包括支援センターを設置します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>妊娠期から子育て期にわたるまで、<u>安心して相談できる体制</u>を整備するとともに、関係機関のネットワークを強化することで、<u>切れ目のない支援</u>をしていきます。</li> </ul>
	2	こども医療費の現物給付対象年齢の拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て世帯の経済的な負担を軽減することで、子育てしやすい環境を整備します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><u>2018 年度</u>から、対象年齢を拡大します。</li> </ul>
	3	ICT 教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>学力向上に向け、ICT 機器の選定及び授業での活用方法を十分に検証しながら、段階的に導入を図っていきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><u>2017 年度</u>に開始している<u>モデル校</u>の成果を情報教育推進委員会において十分に検証しながら、他校へと事業を拡充していきます。</li> </ul>
住民生活・福祉・環境分野	4	健康づくりプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康体操やウォーキング等、「健康づくり」に関する取組みを全町的に推進します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存事業に横串を刺し、全町的に健康づくりを推進する<u>仕組みを構築し</u>、<u>2018 年度から</u>普及させていきます。</li> </ul>
	5	地域をきれいにする活動支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>「自分たちの地域は、自分たちできれいにしよう！」という意識の高揚を図っていきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><u>2017 年度</u>に運用を開始した「<u>高根沢町まち美化パートナー制度</u>」を活用しながら、地域をきれいにしていこうとする町民の皆さんの発意を<u>サポート</u>し、地域をきれいにする活動が保たれる<u>仕組み</u>を構築します。</li> </ul>
都市整備・上下水道・産業分野	6	住環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画的に市街地整備を進めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>宝積寺駅西第一土地区画整理事業については、<u>2018 年度に整備工事を完了</u>させ、<u>2019 年度以降は、確定測量や換地処分</u>を実施します。 宝積寺駅西第二地区の整備については、<u>2019 年度から</u>、地域との合意形成を図りながら事業実施計画を策定していきます。</li> <li>町道 119 号線（中橋：宝積寺地内）について、<u>整備に着手するための関係者調整等</u>を進めます。</li> <li>国道 408 号線の整備による交通利便性向上を活かした、有効な土地利用方策については、民間の動向に常にアンテナを高くしながら、<u>例えば流通・業務系の土地利用需要</u>等などがあつた場合においては、<u>開発等の適正な規制・誘導</u>を図っていきます。</li> </ul>

			<ul style="list-style-type: none"> <li>宝積寺地区における公共下水道汚水管建設工事を計画的に進めるとともに、水洗率も向上させるよう努めていきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>宝積寺地区【全体整備面積 438.0ha】に対し、2016 年度実績で【整備済面積 287.9ha・整備率 65.7%】となっています。 <u>2020 年度末で、【整備済面積 368.8ha・整備率 84.2%】</u>を目標とします。</li> </ul>
	7	産業振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>元気あっぷむらを、道の駅に登録します。</li> <li>道の駅登録を契機とし、元気あっぷむらのさらなる活性化を図ります。</li> <li>現在取組みを進めている「高根沢ローカルグルメ」のほか、2017 年度から取組みを始めた「白楊豚」など、地元産の食材の地産地消（消費拡大）及びブランド化を推進します。</li> <li>CREATORS DEPARTMENT 等を活用しながら、創業支援をより強力に推進していきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2018 年度末に、道の駅の登録を行い、関連施設整備を経て、<u>2019 年度末に供用を開始</u>します。</li> <li>道の駅の供用（※上記）にあわせ、元気あっぷむらを、サービス内容の衣替えをメインに<u>リニューアル</u>します。</li> <li>関係者（生産者、町内飲食店、高根沢高校及び白楊高校等）との連携をより深めていくとともに、各種イベント等を効果的に活用することで、商品を<u>消費者に広く周知</u>し、<u>販売拡充</u>を図っていきます。</li> <li>CREATORS DEPARTMENT を駅前新たなコミュニティ・マーケットとして定着させるとともに、<u>入居者を町内での創業へと繋げる</u>ようサポートします。</li> </ul>
町政運営 地域自治 地域安全 分野	8	役場本庁舎の整備方針検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>庁舎建替えの方向性を固めていきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2018 年度末を目途として、全町的な議論を開始する前段の<u>庁内整理(手法や財源等のシミュレーション)</u>を終了させます。</li> <li>2020 年度中に、「(仮称) <u>新庁舎建設基本構想</u>」をとりまとめます。</li> </ul>
	9	東小学校跡地の利活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>跡地利活用の方向性を固めていきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2018 年度上半期を目途として、利活用の<u>方向性をとりまとめ</u>ます。</li> <li>2020 年度に、<u>整備に着手</u>することを目標とします。</li> </ul>
	10	防災機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災無線のデジタル化（ハード）と自主防災組織の育成（ソフト）の両面から、防災機能を強化します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハード面においては、<u>2020 年度末までに、防災無線（移動系）のデジタル化を完了</u>することを目標とします。</li> <li>ソフト面においては、2017 年度に運用を開始した「自主防災組織活動支援補助」や「防災士資格取得補助」を活用しながら、<u>自主防災組織の発足</u>に向け<u>サポート</u>をしていきます。</li> </ul>

### 【特記事項】

- 重点取組の推進にあたっては、執行体制の整備も、2018 年 4 月適用を目途として実施していく方向で事務を進めていきます。

# 『地域経営計画 2016』の進捗状況について

## (2016 年度実績)

### チャレンジの進捗状況 (主な実績)

#### 1. 子ども・教育・生涯学習分野

生活課題	主な実績
子育ての支援施設 【チャレンジ NO.1】	・各種教室やイベント等を実施し、児童館の利用者数が着実に伸びています。 (2015 年度利用者数：29,478 人 → 2016 年度利用者数：33,435 人)
教育(知力) 【チャレンジ NO.4】	・全国学力状況調査等の調査結果に基づき、各学校における課題や対応について、「学力向上推進委員会」、「英語教育推進委員会」において協議しながら、取組みを進めています。
図書館 【チャレンジ NO.10】	・県内市町の中で「人口 1 人あたりの貸出冊数」1 位を堅持しています。 (2014 年度実績 1 位：高根沢町 (14.16 冊) 2 位：宇都宮市 (7.57 冊) 3 位：芳賀町 (7.46 冊)) (※出典：栃木県「わがまち大発見! 統計指標 ふるさとウォッチング」2016 年度版)
施設の老朽化や設備環境 【チャレンジ NO.12】	・東小学校校舎新築工事に着手しました (2018 年度内に完成を予定しています) ・中学校舎 2 校にエアコンを設置しました。(2017 年度は、小学校にも設置しました。)
【全体概要と今後に向けた課題】	
<p>「子ども・教育」分野に関しては、前計画(高根沢町地域経営計画 2006)の時から、耐震改修、スクールバス、窓ガラス飛散防止対策、通学路の交通安全対策など、ハード・ソフト両面において最優先分野という認識のもと、取組みを進めてきました。引き続き、町民の皆さんから「安心して子育てができる!」と実感してもらえるよう、取組みを進めていきます。</p> <p>今後の計画推進に向けては、前記により整備してきた色々なハードを最大限に生かすためにも、ソフト面の取組みを充実させていくことが求められていると考えます。2012 年度から町内の小中学校でスタートさせている「小中一貫教育」の中で、学習指導、英語教育、道徳教育、社会性の育成、体育、食育などについて、実効性のある取組みをきめ細やかに進めていきます。</p>	

#### 2. 住民生活・福祉・環境分野

生活課題	主な実績
サービス意識や窓口対応 【チャレンジ 13】	・国が進めている「マイナンバー制度」への対応を進めながら、本町においても 2016 年 10 月から、コンビニで住民票等を取得できるサービスが始まりましたので、制度周知やマイナンバーカードの取得促進を図っている状況です。
介護予防 【チャレンジ 16】	・地域包括ケアシステムの構築に向けて、地域の居場所 (自主的な交流の場) の数を着実に増やしています。(2015 年度末居場所数：8 カ所 → 2016 年度末居場所数：12 カ所)
健康づくり 【チャレンジ 21】	・生活習慣病予防、医療費抑制を図っていくためのロードマップとなる「高根沢町国民健康保険財政健全化計画」を、11 月に策定しました。計画に基づき、町民の皆さんが誰でも、気軽に取り組める健康づくりのメニューを開発し、広く普及させていくための制度の検討を、庁内で開始した状況です。
環境 【チャレンジ 22】	・道路、河川、公園など、町が管理する公共空間について、町民の皆さんがボランティアで美化清掃活動を実施するときに、町がその活動を支援する「高根沢町まち美化パートナー制度」の制度設計を行いました。(この制度は、2017 年 4 月から開始しています。)
【全体概要と今後に向けた課題】	
<p>少子高齢化が進んでいる社会状況下で、限られた資源(財源・人員)の中で切れ目のないサービスを提供していくために、行政と地域の皆さん、関係機関の皆さんが協力し合い、サービスの受け皿となっていく「居場所」の設置や、関係者の「ネットワーク」の構築といった各種取組みを進めてきたところです。</p> <p>今後の計画推進に向けては、特に「予防」の部分である「健康づくり」が喫緊の課題となっています。これまでどおり、健診の受診勧奨を地道に行っていく一方で、無関心層に訴求する具体的な取組み、例えば自己完結で行える簡単な体操等を考案し、全町的な取組みとして浸透させていくことが必要と考えます。</p>	

### 3. 都市整備・上下水道・産業分野

生活課題	主な実績
住環境 【チャレンジNO.23】	・都市計画の将来ビジョンである「都市計画マスタープラン」の見直しを進め、2017年4月に策定しました。
下水道 【チャレンジNO.27】	・計画的に下水道汚水管建設工事を実施しました。 (宝積寺処理区の2015年度末整備率：62.7% → 2016年度末整備率：65.7%)
安全で安心な町産業農産物 【チャレンジNO.29】	・「TAKANEZAWA ROCKSIDE MARKET」や小冊子を通し、「高根沢ローカルグルメ（高根沢焼きちゃんぽん、お米のスイーツパン、高根沢ジェラート）」のPR活動を実施し、12月に開催した「TAKANEZAWA ROCKSIDE MARKET」では1万人を超える来場者を得るなど、目に見える成果を得ました。
商工業の活性化 【チャレンジNO.30】	・「駅前のマーケット」の開催などにより、地道に増やしてきた交流人口を移住・定住・創業へと誘導していくため、「CREATORS DEPARTMENT（※小さなお試し創業施設）」などの制度設計を行いました。（「CREATORS DEPARTMENT」は、2017年秋頃に完成を予定しています。）
【全体概要と今後に向けた課題】	
<p>住環境のインフラ整備については、東日本大震災の復旧事業や他分野の政策展開とのバランスをとりながら、限られた資源（財源及び人員）の中で計画的に取組みを進めている状況です。そのような状況下でも、産業分野においては、国の地方創生関連交付金を活用し、「TAKANEZAWA ROCKSIDE MARKET」、「駅前のマーケット」などのソフト事業を積極的に実施したことで、目に見える成果が得られました。</p> <p>（「TAKANEZAWA ROCKSIDE MARKET」、「駅前のマーケット」等、まちなかの賑わい創出事業の年間開催件数：10回、来場者数：23,829人）</p> <p>今後の計画推進に向けては、確保した交流人口を、移住・定住・創業へと繋げていくことが求められていると考えます。</p>	

### 4. 町政運営・地域自治・地域安全分野

生活課題	主な実績
防災 【チャレンジNO.34】	・地域防災力の強化、機動性のある組織づくりを行うため、「自主防災組織活動支援補助（資機材の購入補助）」、「防災士資格取得補助（人材発掘・育成）」の制度設計を行いました。（この制度は、2017年4月から開始しています。）
行財政改革 【チャレンジNO.37】	・2016年3月に策定した「公共施設等総合管理計画」をふまえながら、限られた資源（財源及び人員）の中で公共施設を計画的に維持修繕していくための方策を、庁内で協議しながら検討している状況です。
地域自治 【チャレンジNO.38】	・自治会活動事例の町ホームページへの掲載、「高根沢町地域創造シート（地域の人口シミュレーションを行うシート）」を提供する仕組みの構築など、地域の皆さんの中の議論や活動を活性化するための側面的支援（きっかけ作り）を行いました。
情報発信 【チャレンジNO.39】	・「るるぶ特別編集」、「高根沢ローカルグルメガイドブック」、「駅前のマーケットトリトプレス」など、町の各種事業において、広報紙や町ホームページを中心としたPRではなく、ターゲットを絞り、SNSや小冊子といった媒体を選択しながらPR活動を行い、町内外の皆さんから好評を得ました。
【全体概要と今後に向けた課題】	
<p>まちづくりを進めていくためには「地域力（皆さんが、地域の課題解決や活性化に、自らの発意で取り組む力。地域を支える多様な主体とのかかわりにおいて、積極的に議論を行い、合意形成しながら取り組む力。）」が不可欠という認識のもと、「地域力」をアップさせるために行政としてできるサポートを、試行錯誤しながら実施しています。他方で行財政改革、特に公共施設の維持管理にあっては、上記のとおり、限られた資源の中で計画的に維持修繕していくための方策を、庁内で検討している状況です。</p> <p>今後の計画推進に向けては、特に公共施設等の維持管理が喫緊の課題となっています。現有施設等の計画的な維持修繕はもちろんのこと、新たな政策課題へも対応していくこともふまえ、「部分最適（一つひとつの施設の維持管理の検討）」ではなく、「全体最適（町全体の施設総量のあり方検討）」の視点から、全庁的に検討を行っていくことが必要と考えます。</p>	

問合せ先：町企画課 企画調整係 TEL:028-675-8102 FAX:028-675-2409  
Eメール：[keiei@town.takanezawa.tochigi.jp](mailto:keiei@town.takanezawa.tochigi.jp)